

# 手羽先をおいしく食べて、ニワトリの骨格標本を作ろう！



ニワトリを1羽手に入れて、全身の骨格標本にするのはとても大変です。でも、スーパーや精肉店で売っている手羽先で標本を作るのなら簡単！手羽先を調理して、おいしく食べてから、残った骨を組み立ててみましょう。きっと「鳥のつばさの骨ってこんなつくりなんだ！人間の手の骨とちがう」とおどろくはず。台座につければ、部屋にかざってもかわいい手羽先骨格標本になります。

## 用意するもの

	+		+		+	
手羽先		入れ菌用洗浄剤		キッチンペーパー		除光液
*スーパーや精肉店で買う。		*たんぱく質を分解する成分が入っている。ミントなどのかおりがついているものがよい。				*アセトンがふくまれるものを選ぶ。
	+		+		+	
チャック付き袋		お茶パック		ホットメルト接着剤		ゴム手袋

## まずはおいしく食べる

手羽先骨格標本を作るには、まず肉を骨から外さなければなりません。そこで、調理した手羽先をきれいに食べます。肉をきれいに食べやすい調理方法は、焼いたりあげたりするよりも、にるのがおすすめです。



命を大切にいただきます！

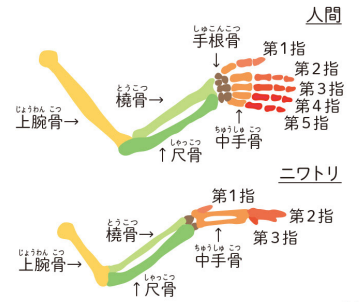
## 標本の作り方



- ①きれいに食べた骨を1時間ほどゆでて、余分なあぶらや調味料をぬぎます。チャック付き袋に、水300mLに対して入れ菌用洗浄剤を3じょうほど入れて、骨を中に入れてつけます。  
\*一晚つける場合は、入れ菌用洗浄剤1じょうで十分。入れ菌用洗浄剤が残った肉をとかします。
- ②ゴム手袋をして、骨についたなん骨を取りきります。キッチンペーパーでふき取ると簡単です。
- ③骨をお茶パックに入れて、あぶらをぬくため除光液（アセトン）につけます。2〜3日つけたら取り出し、水洗いをしたらかわかします。  
\*骨を真っ白くしたい場合は、さらにオキシドールに2日ほどつけます。
- ④骨を組み立てるときは、もう一度、手羽先を食べながら骨の並びを確認するとよいでしょう。ホットメルト接着剤を使って組み立てます。台座にかざって完成。

## step up 標本を作ることで見えてくること

手羽先骨格標本を作ると、ニワトリの指は人間と比べて数が少ないことがわかります。鳥には、人間でいう親指（第1指）、人差し指（第2指）、中指（第3指）に当たる3本の指しかなく、ほかは退化しています。手でものをつかむことのない鳥のつばさには、指は5本も必要がないのです。標本を作ること、ふだん気づかないことや不思議なことなど、たくさんの発見があります。



ニワトリの手羽先は骨の数が少ないので組み立てが簡単。初めての骨格標本づくりに最適です。できあがった標本と自分の手を比べると、生物の進化の不思議を実感できます。今日の晩のおかずは手羽先に決まりですね！（矢野）

◆自然を調べるプロのスゴ技にチャレンジ！ 特別配信版（期間限定）／少年写真新聞社『100円グッズと身近な道具でできる！博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう ③標本と工作』小川誠・奥山清市・矢野真志／共著（西日本自然誌系博物館ネットワーク）p.20-21より  
※このシートは、非商業的な利用に限り使用を許諾します。 ©小川誠・奥山清市・矢野真志